

こころ 豊高図書館 みち 第208号 2016.5.30

森垣 琴音 小山 実紗
大森 汐莉 田尻 瑞生
谷岡 芳樹 (二年図書委員)

梅雨の季節になりました。

ゴールデンウィークも終わり、梅雨が近付いてきました。雨の日が続く、じめじめと気分も重くなりそうですが、雨の日こそ図書館に足も運んでみてはいかがでしょうか。図書館には勉強に役立つ本からアニメの本までさまざまなジャンルの本が、と見つかるはず。

集中して勉強したいという時にも、昼休みや放課後に、ぜひ図書館に足も運んでみてください。



皐月

五月は過ごしやすい
陽気が続く行楽のベスト
シーズン。新緑が青々
と染まるこの時期は、田舎の
季節でもあります。「皐月」の名は
「早苗月(はなづき)」が略
されたものだと思います。

貸出数ランキング

(4月～5月)
貸出冊数
57冊

1位 キノの旅 (時雨沢恵一)
1位 妖怪アパートの幽雅な日常 (春月日輪)



北海道へ
行ってみたい。
表紙イラスト
小山実紗



・図書館前に図書委員が勧めの
本の紹介を提示しています。

気になる本が見つかるかも…?

新着図書

・きみの肝臓を食べたい

(住野実)

偶然、僕が病院で拾った
一冊の文庫本。タイトルは「病
文庫」。それはクサメイトである
山内梅良が綴っていた、秘密
の日記帳だった。
肝臓を食べたい(？)カニバリズム(？)
こんなことはありません(？)読めば
きっとこのタイトルに涙します。
全ての予想と裏切りの結末まで
一気読み必至!

・羊と鋼の森

(宮下奈都)

うろたえている。世界と音調和して
いる。それがどんなに素晴らしいこと
か、言葉で伝えられないなら、音で
表せるようになれはいい。
ピアノの音調に魅せられた人の
少年。彼が調律師として、人々
として成長する姿と温かく解き明か
す筆致で綴られた、新境地の満ちた
長編小説

静謐-せいの



花のつぼみは、お
菓子の全平糖に似
ていてかわいらしい。
花が咲くと小さな
女性用のパラソルも
開いたように見える。

わがふるさと

生徒会最近我が家におみやげが
なにと云っていましたが、おみやげも箱が
ら出て、子どもの成長を見たことと思っ
ているかも知れません。
男子も、鯉のぼり、兜、登竜門の掛け
見て何かを感じていると思います。
大人になつたとき、面倒だと思わな
日本古来の行事を
是非受け継いで欲しいと思います。
(各家庭に於ける日頃の行事大切に)

日本伝統行事

日本にはいろいろな行事があり、
正月、五節句、節分、お金、大晦日等
これらには、五穀豊穡、子どもの健
やかな成長、立身出世などの願いや
節目くを大切にしようという思いが
込められていて、先祖を
こうして古代から言い伝えられ、先
おまつりし大切に大切に守り継がれ
てきました。

豊高は今年創立五百周年の節目で
十月の式典には、10して参加して下さい

家族で守り伝えたい

(本) 君はいい子 (中島初枝) 5篇集録

日掃れたのも、触れたのも、お母さんの手だった。(心を揺さぶる物語)